



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

郷のたより

Satonotayori

平成23年 春号



やすらぎの郷

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。
やすらぎの郷では募金箱を設置し救援金を受付しています。



東日本大震災の 救護活動に参加して

平成23年3月に東日本大震災の事務救護班として主に診療患者の登録、データの整理、救護班の登録などを石巻赤十字病院で行ってきました。

現地に着き、本当に困っている人を目の当たりにしたとき、心から力になりたいと思いました。石巻市の町中の様子は、皆さんニュース等でご存知のとおり、言葉では表現できないほどの惨状が現実でありました。その中で、石巻赤十字病院のスタッフの皆さんが「丸となって全力で頑張っており、少しでも病状が元の機能を取り戻せるよう調整できている様子が見えました。

約5日間の活動ではありましたが、生還されることのできない貴重な経験をさせていただきました。私たちの行った活動が石巻の皆さんにとって少しでも役に立ったのであれば、本当に嬉しく思います。

赤十字の職員で良かったです。ありがとうございました。

事務部 主事
松本 正和

岩手県の被災地へ日赤介護チーム派遣中 [4/14(木)~5/13(金)]



“やれることきちんとやり
全力を尽くします!”

主任生活相談員
廣田 弘樹

日赤介護チーム活動報告 第2班(4/21(木)~4/29(金))

21日より岩手の陸前高田にきています。配属先は老人保健施設ですが施設の機能が激しく、190人超の利用者は現在3カ所に別れて生活をしています。そのうちの二つ、32人が生活されている所に私は配属されています。配属先では主に排泄・食事・介護介助等の介護のお手伝いをしています。4月末には全員が戻れるように、増修工事が急ピッチで進んでおり、施設の清掃等のお手伝いも行っていきます。

毎夕、医療救護班、心のケア班、介護班が報告会を行うのですが、報告を聞くとき赤十字の役割の大きさを強く実感します。今まで以上に赤十字というものを意識して活動するようになりました。また、特設では地域住民の避難者を多数受け入れており、災害時における地域での特設の役割を考えさせられました。最後まで体調に気をつけ頑張りたいと思います。

〇活動を終えたい〇

4月29日、予定されていた活動を終了し、無事、帰国いたしました。帰ってきてからは緊張感から解放されたホッとしたのが、体の調子がいいのですが少しずつ戻っていきたくです。東北ではまだ不自由な避難所暮らしをしている方も多く、普通に暮らせるといふことを有難く思いながら今後生きていきたいと思えます。震災の復興にはまだまだまだ時間がかかると思えますが東北の方々と頑張っていますので自分も頑張ります。今回、皆様には大変なおかけでしたが、多くの経験をすることができ今後の自分の糧になるものと思えます。ありがとうございました。今後とも宜しくお願いします。



東棟

「一致団結」

新介護長の下、一致団結して入所者を見つめる



田邊介護長



田中介護係長「笑顔」

私達は、利用者の皆様が“素敵な笑顔”で暮らして頂けるようお世話をさせて頂いております。また、地域住民の皆さんと積極的に交流し、世の中ともしっかりとクロス!!頑張っています。



西棟

「その方らしく、たのしい日々を」をモットーに頑張っています。



吉村介護長



入居者の笑顔が絶えない西棟です。



安藤 管理室

ケアプランセンター「笑顔と向上心」

この4月からケアマネージャー3名体制となり「居宅介護支援特定事業所」として新たにスタートしました。主任ケアマネージャー、社会福祉士、看護師、それぞれの専門分野を活かしたチームワークの良い居宅支援事業所です。「安心して下さい。振り向けば私達が後ろにいます。」笑顔と優しさで向上心で皆様の在宅生活を支えます!!

特養相談員

「利用者の皆さんの幸せと笑顔のために」
「広さと緑」



廣田主任相談員



安藤相談員

廣田主任相談員は、実は資格持ちで、勉強家です。ほんの一部を紹介すると、社会福祉士・ケアマネ・介護福祉士はもちろん、フォークリフトや衛生管理者の資格も持っています。休日は長男のユウキさんとマラソン大会に出場するマイホームパパです。安藤相談員は得意な話術で人を惹きつけるだけでなく、趣味の釣りもプロ級です。丁寧な物腰と楽しい発想力で、多方面の方々に支持されています。特養相談員は二人とも、仕事も真面目、多才な趣味を持ち、豊かな経験と幅広い人脈でやぶらぎの郷を支えています。

ケアハウス



吉田係長

「利用者の心とともに」
心と心のつながりを大切に

武田園長

「緑あふれる広々とした環境」
「職員の笑顔が素晴らしい」
「理念に向かって頑張る」



施設環境・家族会・ボランティア・そして素晴らしい職員に恵まれた施設です。これからもよろしくお願ひします。

川原課長



事務所「結」

「人のバランスが良い」
「基盤が強い」

川原事務課長を中心に、事務職員一同、正確かつ迅速に仕事をこなしつつ、明るい笑顔と笑顔があふれるメンバーです。これからもチームワークを大切にしながら、やすらぎの郷を支えていきます。

祝15周年

“やすらぎの郷一步前へ!!”

新たな可能性に向かって。

平成23年6月1日、やすらぎの郷は15周年を迎え、新しい可能性に向かって踏み出します。

各部署に聞きました!

やすらぎの郷はココがスゴイ!!

看護

「熱いハート」

で利用者の皆さんのわずかな変化も見逃しません!!



藤野看護師長

柳池主任調理員

厨房

「絆」

いざという時の団結力はスゴイ!!



ベテラン揃いの厨房です。積み上げた経験と手順の良さで利用者の皆さんの食を支えます。食べることは生きること。11種類の食事形態を準備し、身体機能が衰えた高齢者にも安全で美味しい食事を届けています。

デイサービス

「チームワークがよく親しみやすい」



“おもてなしの心”と“やすらぎのある家庭的な雰囲気”、そして“明るく元気な職員”が自慢のデイサービスです。新しい車両も増え、ますますパワーアップです。



車両が増えました



日本財団より助成を受け平成23年3月8日に新しくキャラバンを整備し利用者の送迎に活躍しています!

赤十字奉仕団ボランティア交流 “じゅんの会” “ふきのとう” 交流会



平成23年3月25日、北九州を拠点に活動している“じゅんの会”と“ふきのとう”が当施設で行なっているケアピクスを通じて交流会を行ないました。

恒吉ガーデン



恒吉ガーデン長 “今年もやります”

今年も正面玄関前の恒吉ガーデンにご注目!!
かわいい花と緑で皆さんをお迎えます。
現在、次のガーデンを構想中です。乞う、ご期待!

郷のニューフェイス紹介

よろしくお願ひします！



事務課長
川原 紀久典

4月1日付で福岡赤十字病院から転任してまいりました川原と申します。私は福祉施設での勤務は初めてで何もわからないことばかりですが、諸先輩方が築いてこられた質の高いやすらぎの郷のサービスを低下させないように、多方面から支えていければと思います。何卒ご指導いただきますようよろしくお願ひいたします。



看護師長
藤野 かほる

4月1日付で日赤福岡県支部より転任して参りました藤野と申します。特別養護老人ホーム勤務は五年振りです。生活の場である施設において入居者の皆様がより快適な生活が送れますように、健康面において最大限努力を行ない支えて参りたいと考えております。職員・御家族の皆様の御協力をよろしくお願ひ致します。



西棟介護職員
吉武 加奈

3月から西棟に配属となりました吉武加奈です。まだまだ不慣れなところも沢山ありますが、一生懸命頑張りますのでみなさんどうかよろしくお願ひします。



東棟介護職員
園田 寛子

今年度よりやすらぎの郷の専任職員となりました園田寛子です。派遣社員から専任社員へと立場が変わり、気持ちも新たに頑張っています。サポートいたします。よろしくお願ひします。



ケアプランセンター
ケアマネージャー
田中 菜穂子

以前、福岡赤十字病院で看護師をしていました。この度、再び赤十字の員となれた事に喜びを感じています。利用者様、ご家族様が笑顔で暮らせるように、明るく元気にお手伝いさせていただきます。よろしくお願ひします。

介護長就任にあたって

・東棟 介護長

田邊 綾子



3月で退職されました安武介護長の後を引き継ぎ、4月より介護長として勤務させていただきます。若輩者で不慣れなため、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、私にできることを実行していくつもりです。ご理解、ご協力、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

復職 平成23年5月1日付

・調理員

石丸 珠希



・西棟介護職員

田邊 好美



5月から育児休暇より復職しました。長い間で短い1年半でしたが充実した毎日が過ごせたように思います。早く仕事に慣れるよう、また入居者の方々によりよいサポートができるよう日々がんばりたいと思います。

長い間お休みを頂き、有り難うございました。5月より復帰し、またやすらぎの員として新たな気持ちで頑張りますので宜しくお願いいたします。

配置換え(前職) 平成23年4月1日付

・ケアハウス介護職員

伊藤 真弓 (西棟介護職員)

・東棟介護職員

雪野 綾子 (ケアハウス介護職員)

人事だより

● 転出(前職)

平成23年4月1日付

福岡赤十字病院 医事課長

森 広樹 (事務課長)

日本赤十字社 事業局

救護・福祉部 参事

大橋 雪英 (看護師長)

お世話になりました



● 退職

平成22年12月16日付 塚本 あゆ美 (西棟介護職員)

平成23年3月31日付 安武 節子 (東棟介護職員)

4年間、ありがとうございました

やすらぎの郷医務室

嘱託医

馬渡 康郎 先生



編集後記

未曾有の大災害をむかした東日本大震災から7ヶ月、被災された方の深い悲しみから御冥加を申し上げます。復興のために力を合わせ、強く生き抜く被災地の方々の姿を見ると、こうして今、生きていることに感謝し、人々が支えあつていけることに喜びを感じます。そんな中で、やすらぎの郷は、6月1日付に、開設15周年を迎えます。これまでも、やすらぎの郷の多くの人々に支えられてきました。たくさんの方々の愛とサポートのおかげで、この場所ができた。愛と信頼される施設となるよう、職員同士の力を合わせて新しい25周年を迎えたい。心からそう思っています。もう一度変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。(広報委員 池)